

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

SD 推進委員会

2020 年度 年間活動報告書

2021 年 3 月 31 日

《SD 推進委員》

委員長	鱧 一夫
委員	竹上 健
委員	下山 寿子
委員	滝井 元視
委員	鈴木 洋文
委員	内山 淳
委員	茂木 誠
委員	須川 和美
委員	板垣 哲平
委員	戸塚 陽介

## 1. はじめに

高崎商科大学 SD 推進委員会（以下「本委員会」と言う）は、平成 27（2015）年 4 月 1 日に施行された「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき組織されており、2020 年度の構成員は各部署よりまんべんなく専任職員 7 名が選出されている。また 2017 年度より SD に関する法令が制定されたことに伴い、昨年度に引き続き 3 名の専任教員（商学部 学部長、商学部 学生部長、短大部 講師）を構成員に加え、合計 10 名で活動を行っている。

同規程では、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」と言う）を「専任教育職員・事務職員を対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組み」と定義されており、以下の 3 項目について計画的、継続的に今年度も企画・運営が行われている。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

2020 年度の第 1 回 SD 推進委員会（2020 年 6 月 24 日に実施）において、上記 3 項目を確認後、委員会としての年度方針を次のとおり決定した。

- (1) 3 つのテーマに従い、学内 SD 研修会を年間 6 回、企画・運営する
  - ・教職協働（FD・SD 連携） (1 回)
  - ・学内環境や社会課題の共有研修 (2 回)
  - ・大学や部署の取り組みを題材とした研修 (1 回)
  - ・組織管理・運営向上を目的とした研修 (1 回)
  - ・今後の大学の在り方や役割を認識する研修 (1 回)
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響による外部研修機会減少に対して、当委員会より個別にオンライン研修の参加を推奨する
- (3) 愛知東邦大学との人事交流研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、延期する
- (4) 年度末には年間報告書を作成し、ホームページより公表する

※「FD」とは「ファカルティ・ディベロップメント」の略

第 2 回目以降の委員会活動については、以下のとおりである。

- 第 2 回…2020 年度実施する SD 研修会案を検討・進捗状況報告、個別研修の実施報告、オンライン研修提供システムについて確認
- 第 3 回…2020 年度 SD 研修会実施報告、2020 年度に実施する SD 研修会案を検討・進捗状況報告、オンライン研修提供システム実施状況報告
- 第 4 回…2020 年度 SD 研修会実施報告、2020 年度に実施する SD 研修会案を検討・進捗状況報告、次回 SD 研修会実施内容及び役割分担確認、
- 第 5 回…2020 年度 SD 研修会実施報告、2020 年度に実施する SD 研修会案を検討・進捗状況報告、次年度以降の方向性の検討
- 第 6 回…2020 年度 SD 研修会実施報告、これからの職員に必要な能力に関するアンケート調査の実施報告、次年度計画の内容検討

2020 年度に実施した学内 SD 研修等の詳細については「2. 2020 年度 事業報告」にて紹介する。また年度末に実施したアンケート調査の集計結果については「3. アンケート調査集計」にて紹介する。

**2. 2020 年度 事業報告**

## 《研修等》

2020 年度は年間を通して 6 回の学内 SD 研修等を企画・実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、4 月以降、授業方法の模索、入学式中止による新入生への心的不安を含めたイベント対応方法の検討、対面授業実施に関連する除菌等の施設対応検討等、教職員研修への取り組み開始が例年より遅れた中で、要所を捉えた研修会テーマ設定を実施。学生主体の本学における課題の状況を理解する研修会や、多様化した社会に対応すべく、他者への理解を深めコミュニケーション能力の向上を図る取り組みを行った。昨年度に引き続き、研修方法としても理解するだけでなく、そこから次を考えるきっかけになるような参加型・思考型の方法を多く取り入れ、実践することに直結できる研修会が増えたことが今年度の研修会全体の大きな特長だと言えるだろう。

今年度より事務職員対象だけではなく、専任教育職員も対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組みについて意識しており、研修会内の質疑応答では教育職員ならではの質疑が寄せられたことは特筆すべきことだと言える。

以下に記載する研修は教育職員・事務職員を対象とした SD 研修会と教職員全員参加を対象とした FD・SD 合同研修会が混在している。また、本委員会による企画とは別に、部署やチームによる独自研修会についても報告する。

## ① FD・SD 合同研修会「経営改革計画・財務状況」

実施日：2020 年度年 9 月 9 日（水）11：00～11：30

対象者：全教職員

参加者：58 名（対象者 59 名 参加率 98.3%）

他法人職員など 5 名、特任教員 8 名 計 71 名

講 師：総務課 課長 松田禎史、総務課 課長補佐 蜂須和伸

内 容：本学の経営状況を把握し、教職員としての経営視点を身に付ける。



## ② 「退学について考える」

実施日：2020 年 9 月 16 日（水）15：00～16：30

参加者：54 名（対象者 59 名 参加率 91.5%）

他法人職員など 3 名、特任教員 4 名 計 61 名

講 師：倉部 史記 氏

内 容：高大共創のアプローチで高校生の進路開発などに取り組み、多数の講演実績や大学等において FD・SD に関する研修を行っている講師より「退学」をテーマに講義していただき、教職員に現状を理解してもらう。

- i. 大学等を取り巻く状況について
- ii. 高崎商科大学が置かれている状況について
- iii. 退学の実態について
- iv. 高校進路等の現状について
- v. これからの大学対応について



③ 「心のバリアフリーをテーマに障害平等について」

実施日：2020年11月18日（水）15：00～16：00

参加者：51名（対象者59名 参加率86.4%）

他法人職員など4名、特任教員4名、パート1名、高崎商科大学附属高校 1名 計61名

講師：DET 群馬 飯島 邦敏 氏・細野 直久 氏

内容：「障害」を個人モデルとして捉えてきた従来の考え方を「社会モデル」として考えていくワークショップ型の発見型学習研修について、群馬を活動拠点にしている DET 群馬の飯島氏より講義していただき、様々な立場の人たちが相互に認め合える社会実現のために、今の実学に沿った学びの場の提供や学習環境の見直しにおける意識改革の場としてもらう。

- i. 課題について各参加者によるワーク
- ii. 講師より内容について講評
- iii. 障害者の現状について各参加者によるワーク
- iv. 講師より内容について講評



④ 「感染予防について」

実施日：2020年12月14日（月）15：00～16：00

参加者：41名（対象者59名 参加率69.4%）

他法人職員など5名、パート1名、高崎商科大学附属高校 1名 計48名



講師：群馬大学 内田 満夫 氏

内容：感染症における様々な医学的知見を提供している内田氏より、感染症の種類や特徴について講義していただき、教職員の感染予防へ対する意識を考え理解してもらう。



⑤「働き方改革における時間外労働について」

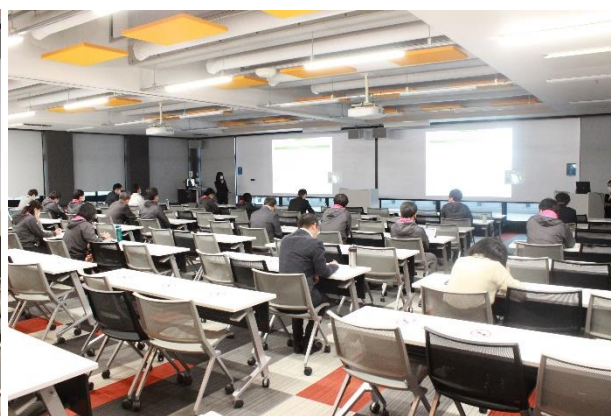
実施日：2020年12月17日（木）10：00～12：00

参加者：25名（対象者26名 参加率96.1%）

他法人職員0名、パート5名 計30名

講師：山本労務管理事務所 山本 真理 氏

内容：特定社会保険労務士として、様々な相談やセミナー等を実施されている山本氏に、事務職員を対象にした働き方改革関連法を中心とした働き方改革における時間外労働について講義していただき、現状を理解し業務推進していく上での基礎知識を把握してもらう。



⑥「退学について考える（部署間での情報共有）」

実施日：2021年3月22日（月）15：00～16：20

参加者：38名（対象者59名 参加率64.4%）

他法人職員3名、特任教員2名、パート2名 計45名

発表者：①教学課教育企画G 下田、②教学課教務G 遠藤、③教学課学生G 富所、  
④教学課総務G 板垣、⑤キャリアサポート室山田、⑥地域連携センター伊勢亀、  
川又

内容：9月16日実施の研修会をベースに各部署の退学防止につながるデータ・情報を教職員で共有・考察することにより、中途退学を大学全体としての課題認識につなげた。



## ⑦その他 部署内勉強会等

## 【個別の勉強会】

日時	内容	講師	部署 or 対象
2020/7/22	カリキュラムの特徴と編成原理について	教学課長	教学課有志
2020/7/29	大学におけるハラスメント防止セミナー	早稲田アカデミッククリュージョン	教育職員・総務職員
2020/9/3	学務システムについて	有坂主任	学生グループ
2020/9/3	奨学金について	須川	学生グループ
2020/9/23	これからの時代に対応した教育の在り方を考える会（社会科学編）	ベネッセ	総務課有志
2020/11/2	業務と補助金の関連について	森本次長	教学課・他部署有志
2020/11/18	GPS-Academic について	岡野課員	キャリアサポート室
2020/11/19	RPA の活用と対象とする業務の洗い出し	富士ゼロック(株)	総務課
2020/12/8	教学マネジメントについて	有坂主任	今年度入職者
2021/1/25	留学生就職支援セミナー	東京都	キャリアサポート室
2021/1/28	就職・キャリア支援担当者セミナー	株式会社ディスコ	キャリアサポート室
2021/1/28	コロナ慣れしている企業のための感染症対策の現状と具体的な対策による運用とは	(株)ツバサ・(株)アサヒ商会	総務課有志
2021/2/8	学科について、類人猿診断（過去の SD 研修）	有坂主任	今年度入職者
2021/2/19	発達障害学生に対するテクノロジーを用いた修学支援	筑波大学 DAC センター	SD 推進委員会有志
2021/3/5	入試制度について、個人目標について	有坂主任	今年度入職者
2021/3/18	キャリアタス UC 説明会	株式会社ディスコ	キャリアサポート室

## 《その他の取り組み》

SD 研修の企画・運営以外では、以下の項目について取り組みを実施した。

- ① 2020 年度以降に向けた本委員会活動の見直し

### 【高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 SD 推進委員会】

今年度は、個々の教職員の能力開発、能力向上に対する意識が向上し、それぞれの自己啓発活動、部署やチームによる研修が飛躍的に増加した年となった。今後は、今年度新たに実施した「職員に求める能力に関するアンケート」の調査結果の分析を行い、プログラムの提案も視野に入れた組織を目指したい。また、地域における大学として様々な課題や当事者からの声等、教育組織以外からの知識・能力の習得についても行っていきたい。

#### ② オンラインセミナー視聴システム構築

新型コロナウイルス感染症の影響による外部研修機会減少に対して、当委員会より個別にオンラインセミナーコンテンツを外部サイト経由で使用することができるように整備をした。出張等で外部へ赴くことがなくても学内にて知識及び能力向上できる機会を設けることができたことは、組織運営強化だけでなく、働き方改革にも関連した取り組みとなった。

#### ③ 他大学FD・SD研修会参加

他大学にて実施していたFD・SD研修会へSD推進委員会の有志メンバーで参加することができた。大学間協定における愛知東邦大学とのSD研修に参加することはあったが、FD・SD研修会にSD推進委員が参加する機会が無かったため、講師の選定や講演テーマ、研修会の進め方に関して参考になる内容が多々あった。SD研修の企画・運営に関してSD推進委員会自体も情報収集及び運営体制の見直しを継続的に実施し、より良い研修企画・運営に努めていく良い研修機会となった。

#### ④ アンケート調査の実施

※アンケート調査の集計結果及び分析については「3. アンケート調査集計」を参照

### 3. アンケート調査集計

今年度も昨年同様、個々の研修等に対してのアンケート調査は行わず、年間を通して年度末(2021年3月30日)に総括として位置付けたWebによるアンケート調査を実施した。以下にアンケート質問内容と集計結果を報告する。

#### 《アンケート質問内容》 全9問

- 問1. 今年度参加したSD研修会について、全体の『満足度』を教えてください。
- 問2. 今年度参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等があった研修会はありましたか。
- 問3. 上記質問にて回答した研修会について、理由や感想、意見を自由にご記入ください(研修会ごと、全体的なことでも可)。「該当なし」と回答した方は理由を教えてください。
- 問4. 今回、前橋商工会議所が提供しておりますWebセミナーのご案内をさせていただきましたが、視聴された回数を教えてください。
- 問5. 視聴された方は、回数、感想、視聴したカテゴリーを教えてください。視聴されなかった方は、利用しなかった理由を教えてください。
- 問6. SD研修会を実施するにあたり、参加しやすい月を教えてください。
- 問7. SD研修会を実施するにあたり、参加しやすい曜日を教えてください。
- 問8. SD研修会を実施するにあたり、参加しやすい時間帯を教えてください。
- 問9. SD研修会の他に、ご自身の成長につながった自己啓発や職場外で有効的だったと思えた経験がありましたら教えてください。

#### 《アンケート集計結果》

有効回答数は21件であった。 ※回答率72%

- 問1. 今年度参加したSD研修会について、全体の『満足度』を教えてください。

大変ためになった	5名
ためになった	16名
あまりためにならなかった	0名
ためにならなかった	0名
どちらともいえない	0名



【コメント】

回答者の全員が「大変ためになった」もしくは「ためになった」と回答しており、コロナ禍での満足度としては一定の評価がうかがえる。

問2. 今年度参加したSD研修会について、業務への向き合い方や意識の変化等があった研修会はありましたか。

退学について考える（外部講師によるセミナー）	10名
退学について考える（各部署から退学データを情報共有）	9名
心のバリアフリーをテーマに障害平等について	15名
感染予防について	7名
働き方改革における時間外労働について	6名



問3. 上記質問にて回答した研修会について、理由や感想、意見を自由にご記入ください（研修会ごと、全体的なことでも可）。「該当なし」と回答した方は理由を教えてください。  
※以下コメントは一部抜粋したもの

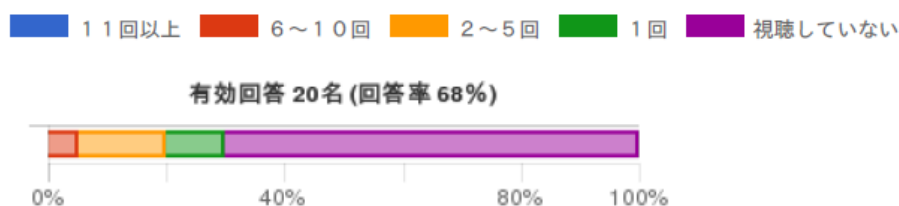
- ・ 入学する学生も多様化してくるため、これからの学生への向き合い方を新たに考える機会となりました。また、学生を含め、保護者や外部の方、かかわるすべての方に対しても、同様向き合い方を見直してみたいと思いました。
- ・ 大学運営には欠かせない研修会ばかりでしたので、業務にも関連付けて考えるようになりました。
- ・ 各部署の情報共有は有効だと感じた。研修を通して気づくことやアイデアにつながることもあるので、今後もテーマを広げて機会をいただければと思う。
- ・ すべて大変ためになりましたが、差をつけるために取って上記選択の2件は自分の知らなかつ



たこと、できていなかったことがわかり、今後の業務に対しての姿勢や考え方において特に有効だったと感じています。

問4. 今回、前橋商工会議所が提供しておりますWebセミナーのご案内をさせていただきましたが、視聴された回数を教えてください。

11回以上	0名
6～10回	1名
2～5回	3名
1回	2名
視聴していない	14名



問5. 視聴された方は、回数、感想、視聴したカテゴリーを教えてください。視聴されなかった方は、利用しなかった理由を教えてください。 ※以下コメントは一部抜粋したもの

【視聴カテゴリー】

- ・ コミュニケーション
- ・ パソコンスキル、生産性向上
- ・ マネジメント・意識改革
- ・ 接遇関連

【視聴感想】

- ・ 短時間なので、隙間時間に視聴することが出来き良かったと思います。職場内だけでなく、学生指導にも役立つコンテンツが多くあると思いました。
- ・ 動画によっては数分で視聴できるものもあり、業務がある中でも時間を作りやすかった。
- ・ 視聴するタイミングがなかった（業務に直接関係するWEBセミナー等を優先した）。

【コメント】

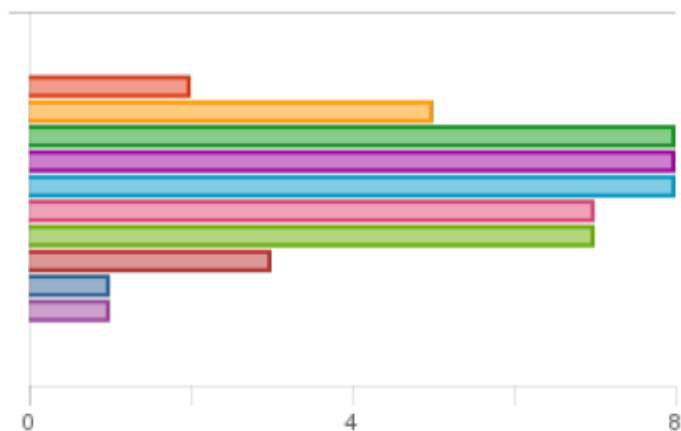
回答者の7割が、視聴していない状況にありましたが、「他の業務との兼ね合いから受講しなかった」、「案内が届いていたことを失念していました」との意見が多く見受けられました。他方、実際に視聴した方からのコメントは視聴しやすいとの意見もあったことから、視聴するタイミングの問題や視聴者側の問題もあるように見受けられます。来年度は年間を通して案内方法を検討する等、まずは利用促進を図り、自己啓発へつながる意識向上へつなげ、視聴内容の効果についても今後検証をすすめていきたい。

問6. SD研修会を実施するにあたり、参加しやすい月を教えてください。

4月	0名	5月	2名	6月	5名
7月	8名	8月	8名	9月	8名
10月	7名	11月	3名	12月	3名
1月	1名	2月	1名	3月	0名



有効回答 19名 (回答率 65%)



問7. SD 研修会を実施するにあたり、参加しやすい曜日を教えてください。

月曜日	4名	火曜日	10名	水曜日	3名
木曜日	10名	金曜日	6名		



有効回答 19名 (回答率 65%)

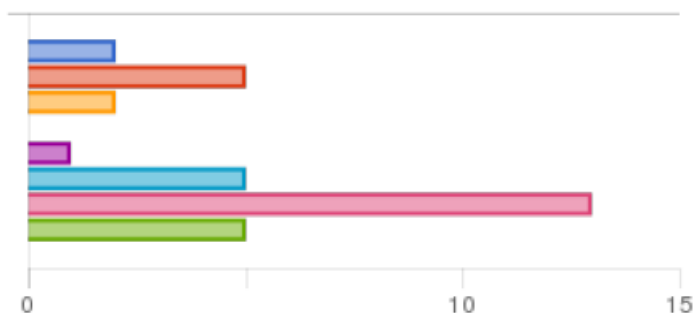


問8. SD 研修会を実施するにあたり、参加しやすい時間帯を教えてください。

9時～10時	2名	10時～11時	5名	11時～12時	2名
12時～13時	0名	13時～14時	1名	14時～15時	5名
15時～16時	13名	16時～17時	5名		



有効回答 19名 (回答率 65%)



問9. SD 研修会の他に、ご自身の成長につながった自己啓発や職場外で有効的だったと思えた経験がありましたら教えてください。※以下コメントは一部抜粋したもの

- ・ 私大協の研修は有効的であると思います。他大学の職員と接すると、常に文部科学省の情報収集に努めているなど、教育機関に勤めているという意識の高さを感じることができ、自己啓発にもつながると思います。
- ・ 他大学職員や外部の社員と話をする機会が有効であったように思われる。
- ・ 「解決志向ブリーフセラピー」は、自身のメンタル保持・学生指導にも良いと思います。
- ・ 日頃、自分の関係のある取引先や知人ではなく、価値観や普段の生活と関係ない研修の場に参加することは自身の成長に繋がった事がありました。

#### 【集計結果全体に対するコメント】

2020 年度に実施した学内 SD 研修会については、コロナ禍で従来とは違った形式での開催にチャレンジしたにもかかわらず、各参加者が一定の満足感を得ていることが本アンケート調査によって確認できた。また、SD 研修会を通して、業務への向き合い方や意識の変化についても、「他人にとっては当たり前ではないことが改めて痛感しました。常に相手を思いやることを意識して業務にあたっているつもりだが、ふとした瞬間に自分中心で物事を考えがちになってしまう。しかしこういった研修は自分の行動や言動、考え方まで見直すことにも繋がる」や「個人が持っている認識の変化や学び、本学でのこれからの取り組みに必要な課題などを知るきっかけとなった。部署の見えない部分を繋ぎ合わせていくことで、見えてくるものがあると実感した」等、個人の能力向上につながるきっかけや新たな課題にも気づく声が多くあった。

今年度より新たに実施した「Web セミナー」では日々の業務の中で視聴機会を逸した声も多くある一方、視聴した感想からは「短時間で視聴できる」や「業務へ役立つコンテンツがある」等、今後、周知活動を進めることで、使用した上での感想共有や自己啓発へのきっかけにつながる可能性を大いに発見することができた。

運営面でのアンケート結果から、夏～秋・冬にかけての開催や週の後半での実施、午後時間帯主体の開催検討をすることで、より参加しやすい研修会につながるのではないかと考える。

最後に、先日収集した「職員に求める能力に関するアンケート」から効果的な研修として、「自己啓発」や「職場外での経験」と回答した投票が多かったことから、「SD 研修会の他に、ご自身の成長につながった自己啓発や職場外で有効的だったと思えた経験」についてアンケートを実施したところ、他大学の交流や私大協の研修等、日頃の環境では得られない交流が効果的だったとの声が寄せられた。次年度もコロナ禍での研修企画検討の際にはこれらの意見を参考に内容を精査していきたい。

## 4. まとめと次年度計画

《まとめ》

本委員会における主たる業務は「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき、以下の3項目となる。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

本委員会は発足して6年目の節目の年を迎えた。今年度までは前年度の活動を基に、年度末のアンケート結果を踏まえ、改善を行いつつ活動を展開してきた。

(1) と (2) については学内 SD 研修会やそれぞれの職員による自己啓発活動、部署やチームによる研修により担保し、(3) については、今年度から FD・SD の枠に捉われない研修会の実施、FD 推進委員会との共同企画による研修会の継続的实施、そして本委員会の構成員に学部長、大学教

【高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 SD 推進委員会】

授、短大講師を加えることによって担保してきた。委員会としての主な活動内容は、研修会の企画及び実施であり、この6年間の活動を通じて個々人の自己啓発意識の高まりや部署単位あるいは目的を共にしたチームによる自発的研修会が実施されるなど一定の成果も見られ、及第点であると考えている。今後は大学職員として必要な能力の分析ならびにその開発、向上に資する研究をする機関としての活動や教職員の採用・退職における知識の標準化を図る為、グループ化した研修の枠組み開発も視野に入れたい。

《次年度計画》

2020年度は、2019年度における文部科学省による指導もあり、SD及びFDの定義が変更になった中、試行錯誤しながらの活動であった。また、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の協議日程よりかなりの遅い立ち上がりとなってしまった。今後、同様の事態も想定し、研修会が一定の時期に集中してしまうことだけでなく、本委員会の基本となるスケジュールの制定の検討も必要であり、また、年度毎の状況に応じた協議については、可能な限り早期から協議を行い、本委員会としての方針及びスケジュールを打ち出す必要がある。

以上